令和２年度

ふじ塚遺跡　発掘たより（１）

発掘調査がはじまりました！

下諏訪岡谷バイパス改築工事に伴って、7月から発掘調査を開始しました。ふじ塚遺跡では過去、町道拡幅に伴う発掘調査を下諏訪町教育委員会が行っていますが、ごく狭い範囲の調査であったため、遺構・遺物は確認されませんでした。本格的な発掘調査となる今回の成果が期待されます。今年度の調査範囲のうち、西側部分はほぼ終了し、9月からは東側部分を中心に、古墳の調査を本格的に開始します。

ふじ塚遺跡遠景

ふじ塚遺跡は砥川右岸の緩やかな南向きの傾斜地（標高 825～835m）に立地し、眼下に諏訪湖や下諏訪町の市街地が見渡せます。遺跡の西側には昨年度調査を行った「一の釜遺跡」があります。

発掘調査のながれ

遺構をみつけることができる深さまで表面の土を取り除きます。

きれいに土を削り、土の色や性質の違いから遺構を探します。

移植ごてなどで埋まった土を掘っていきます。

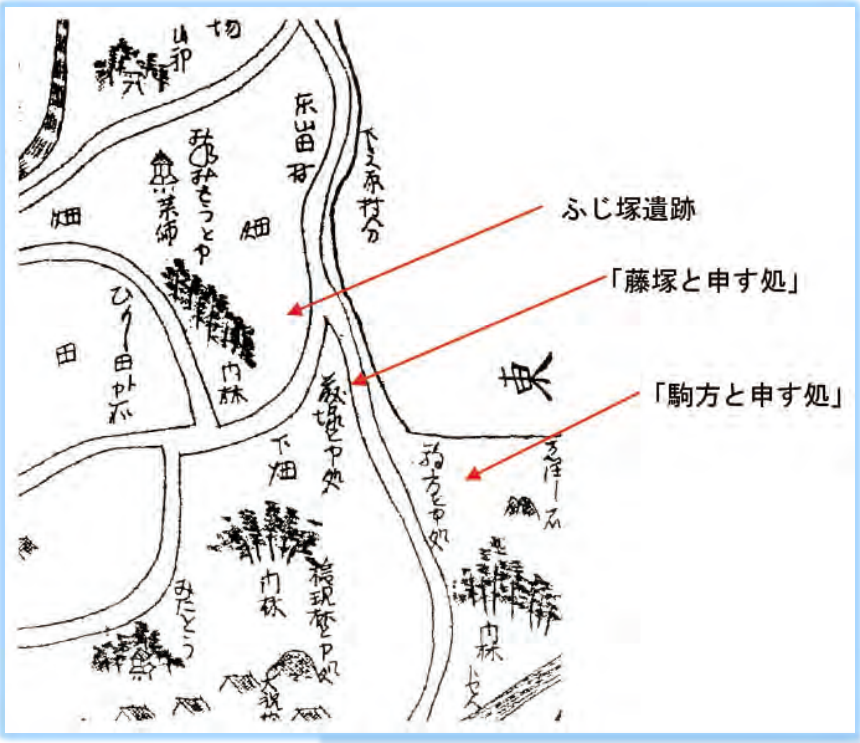
完掘！

測量して記録を残します。

村絵図の中の遺跡

ふじ塚遺跡の周辺には、数多くの遺跡が分布します。このなかには、かなり昔からその存在が知られていたものがあります。

享保 18 年（1733)、高島藩 5 代藩主諏訪忠林が領内の様子を知るため、領内各村に命じて村絵図『諏訪藩一村限村地図』を描かせました。この絵図には、神社・寺院・城跡・古墳などの遺跡・文化財が細かく描かれていますが、ふじ塚遺跡が位置する「東山田村」には「藤塚と申す処」と書かれています。江戸時代の人びとには、すでに古墳の存在と名称が知られていたようです。



『諏訪藩一村限村地図』
諏訪史談会 1956『諏訪史蹟要項 10』より

また、ふじ塚遺跡の南方にある「駒方と申す処」と書かれた場所が、下諏訪町域内で最大と言える縄文時代の集落跡がみつかった「小田野駒形遺跡」にあたります。

黒曜石製の石鏃発見！

これまでに縄文時代の土器・石器、古代の土器、中近世の陶磁器の破片などがみつかっています。なかでも、この黒曜石製の石鏃は完全な形で発見されました。

9 月から開始した、ふじ塚古墳の成果をご期待ください。
ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします！

埋文ナビゲーター
かがみちゃん

ごりんぼう

ふじ塚遺跡 発掘たより　令和２年度 第１号
発行日：令和２年９月８日
発掘現場：080-1320-0216　（担当者：長谷川・河西・西山）
長野県埋蔵文化財センター　TEL：026－293－5926
HP：http://naganomaibun.or.jp/